



広報

7

Public Relations
Itoman 2021
vol.671

特集

カヌー・カナディアンシングルス1000m
糸満市出身の當銘孝仁選手が東京五輪代表に内定しました。
▼當銘選手の特集記事は10ページ▼市長表敬などの様子は8ページ

當銘孝仁 東京五輪への軌跡



いともん

「ながりを深めたい」がコンセプト
糸満市の総合情報マガジン

7
no.671

発行日 / 2021.7.5 7月号 671号 ■ホームページ / <http://www.city.itoman.lg.jp/> ■印刷 / 有限会社金城印刷
■住所 / 〒901-0392 糸満市新崎町1丁目1番地(代表 ☎098-840-8111) ■発行・編集 / 糸満市企画開発部 秘書広報課



今年で沖縄戦終結から76回目の夏を迎えます。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に続き追悼行事が中止または規模の縮小を余儀なくされましたが、沖縄戦の体験を風化させることなく次代へ継承していくため、市内各地ではさまざまな取り組みが行われました。

6月22日、平和祈念公園では平和の思いを込め、平和の礎に刻まれた5つの地域の戦没者を表す5本のサーチライトが夜空を照らす「平和の光の柱」が実施されました。

6月23日「慰霊の日」は、沖縄全戦没者追悼式が平和祈念公園で開催され、正午に黙とうが捧げられました。当日は、平和祈念公園や魂魄の塔など市内各地の慰霊碑にも朝早くから多くの戦争体験者や遺族らが絶えることなく訪れ、刻まれた犠牲者の文字をなぞり、線香や花を手向けていました。戦争の悲惨さや命の尊さを子や孫らに伝える姿が多くみられた「慰霊の日」は、恒久平和を願う祈りに包まれていました。

沖縄戦終結から76回目の夏

— 恒久平和を願う祈りに包まれて

